

令和2年9月14日(月曜日)、長崎県立鹿町工業高校土木技術科1年生の26名が、新幹線工事の現場見学を行いました。朝晩はめっきり涼しくなってきましたが、日中は気温28度を越える炎天下で、みなさん汗をかきながらの現場見学となりました。

最初に長崎駅の建築現場を見学しました。高架橋にのぼり、組立てられた駅舎の鉄骨の迫力を感じながら見学を行い、長崎港を見通せる場所で記念写真も撮りました。

その後、宝町橋りょうの架設方法などの説明を受けた後、昼食をはさんで、大村市の新大村(仮称)駅の現場へ行きました。

新大村(仮称)駅では、駅の建築状況を見学していると、軌道上を走る工事用車両が突然入線してきて、一同興味津々で見入っていました。

最後に、東彼杵町の彼杵川橋りょうの現場に行き、山の上まで覆われたのり面对策工にみな驚きの声を上げていました。

みなさんは各見学箇所で、たくさんの質問をするなど、なかなか見ることのできない新幹線工事に、大いに興味を持っていただいたことと思います。

また、お忙しい中、説明をしていただいた鉄道・運輸機構や施工業者のみなさま、ご協力ありがとうございました。



【長崎駅の高架上での見学の様子】



【宝町橋りょう架設方法についての説明の様子】



【新大村(仮称)駅の見学の様子】



【駅構内で軌道上を走る工事用車両の見学の様子】



【彼杵川橋りょうの見学の様子】



【のり面对策工の見学の様子】